

【取組概要】

団体名	ハッピー上市会
活動の内容（概要）	上市高校は3分の2超の生徒が県内就職する総合学科である。在学中にしっかりと職業観を育み、地域に愛着を持って自分に適した又はやりたい仕事に就けるよう、インターンシップに加え、数年前から実施している「職場見学」や「職業を知る会」、さらには本年度から県内県立高校では初の実際に対価を得て働く「キャリアバイト」を開始するなど上市町内の様々な企業が官や学と連携してキャリア教育を積極的に展開している。

受賞理由

- 対価を得て働く「キャリアバイト」は挑戦的な事例であり、今後の成果と課題の共有に期待
- 同会を毎月行いながら議論を積み上げ、行政（特に町役場）とスクラムを汲みながら参加者を伸ばしていることやキャリア教育推進にかける強い覚悟を校名変更（富山県立キャリア教育高等学校）を要望する姿勢から感じる。
- 地域の課題を共に解決する、企業と就職間際の高校生との良い事例
- 地域密着のキャリア教育として評価。総合学科を活かす上で重要な取組み。離職率の変化など定量評価があるとより良い。
- キャリア教育推進に係る各事業を実施するにあたり、直前のハッピー上市会の定例会議にて、通常の参加者や、事業に協力する総合病院、消防署や保育園等の関係者も出席し、事業の目的等をしっかりと共有したうえで事業に臨むようにしていること。新しい参加者（団体）へ事業の目的等をしっかりと伝えることで、共通認識に基づいた活動の輪が広がり、継続を確かなものに行っていると考えている点です。
- 職場見学、職場を知る会、キャリアバイトという展開は、生徒たちが仕事や職場を知るうえでとても効果的な取り組みである。11年にわたる着実な取り組みによる、キャリア教育の土壌が生み出した仕組みで価値が高い。120回に及ぶ会議の積み上げでの目的共有、社員教育としての企業メリットなどが、地域におけるキャリア教育推進の強みとなっている。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

富山県立上市高等学校

【行政（首長部局等）や地域・社会（NPO法人やPTA団体等）、産業界（経済団体や企業等）】

行政：上市町（総務課、企画課、産業課、教育委員会）、県議会議員、町議会議員

地域・社会：（中小企業家同友会、上市高校PTA、商工会、NPO団体、一般町民等）

産業界：（企業、事業所、金融機関等）

活動開始の経緯

特に上市高校と町役場の幹部職員が加わった平成30年頃からは、地域での教育が頻りに議題に上がるようになった。様々な業種の町内企業（製造業、サービス業、福祉系事業所、IT系企業、建設業、金融機関等）をはじめ、毎回参加者が20～30人程度に増加。上市高校のキャリア教育推進に必要な関係機関との産官学連携体制を構築し、地域全体で教育を考える土壌が育ったことで、キャリア教育に向けた様々な企画を生み出してきた。

「協力性」についての具体的な取組、工夫している点など

本件の強みは、連携・協働している機関や団体、組織が多いにもかかわらず、地域全体で教育を考えるという共通認識を持っていることである。

ハッピー上市会では、各企画の受け入れ側に趣旨を丁寧に説明し、前回の振り返りや現場の声などを紹介したうえで、会の後半ではグループワークを行ってより相互の理解が深まるように努めている。

3つの企画ともキャリア教育にとどまらず、生徒や受け入れ企業にもポジティブな影響を与えている。例えば③「キャリアバイト」に参加した引っ込み思案な生徒が、自信を持って学校生活を送るようになったことや、他のある生徒は保護者の勤務先にキャリアバイトとして参加したところ、保護者がいきいきと働く姿を間近で見て、より介護職への意欲が高まったなど、ハッピー上市会で交わされる日々の意見交換が、地域全体で教育を考えるという共通認識をさらに深め、上市高校のキャリア教育に磨きをかけている。

また、高校側では、生徒のニーズ把握や各事業所との連絡調整、役場側では、会議用スペースやマイクロバス等の提供、企業側では、会議そのものの運営に加え、必要な職種事業所の発掘や声掛けなど、それぞれの強みを活かした協力がなされている。

「継続性」についての具体的な取組、工夫している点など

上市高校のキャリア教育推進に係る各事業を実施するにあたり、直前のハッピー上市会の定例会議には、通常の参加者はもちろんのこと、事業に協力する総合病院、消防署や保育園等の関係者も出席し、事業の目的等をしっかり共有したうえで事業に臨むようにした。新しい参加者（団体）へ事業の目的等をしっかりと伝えることで、共通認識に基づいた活動の輪が広がり、継続を確かなものにしていくと考えている。

一方で、学校側は各企画の参加前に、生徒に聞きたいことや疑問点などの事前アンケートを実施し、アンケートの結果を参加企業に提供することにより、企業は生徒の興味・関心をあらかじめ把握し、しっかりと備えたうえで当日のプレゼンテーションを行うなど、限られた時間の中で、生徒が主体的に学びを深める工夫を繰り返し行なっている。

さらに、事業実施後には、生徒の率直な感想を企業側に提供し、評価や反省を次回に活かせるようにしているほか、定例会議において課題や問題点等について話し合うことで翌年度以降の改善につなげている。

「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など

<学校側のニーズ>

ハッピー上市会が上市高校に協力するようになったのは、主体的ではない形で就職し、結果、早期に離職してしまう生徒が少なからずいる中、平成29年に上市高校から生徒の職業観を育成するために協力してもらえないかと相談されたことがきっかけである。学校側としては、職業観を育み、社会でたくましく活躍してほしいという思いがあった。

<地域側のニーズ>

ハッピー上市会においても、高校生に上市町内の企業を知ってもらうことや早期離職を防ぐ必要性が話題となっていたため、協議を重ね、平成30年に「職場見学」を、令和元年には「職業を知る会」を加え実施することになった。

特に、「職業を知る会」には、製造業、建設業、小売業、金融業、農業、宿泊業、IT、デザイン、スポーツ、理美容業、医療、福祉施設、保育所、消防署など、総合学科にふさわしい多種多様な事業所が参加し、生徒のニーズにしっかり応えることができています。

＜効果について＞

各企画で、上市高校を卒業した社員が高校生にプレゼンテーションをする企業も出てきており、循環型の社員教育として役立っているほか、教員も一緒に企業を見学することで、職場の様子や仕事内容などを知る機会となり進路指導に役立っている。

インターンシップや実際の就職先を選ぶ際には本事業がきっかけで選択する生徒が増えていることから、効果的なキャリア教育が推進されているといえる。

「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

キャリア教育に協力する企業は年々増加し、例えば「職業を知る会」には当初20社から今では30社へと拡大してきている。また、今年度より開始した「キャリアバイト」には、上市町内に限らず、生徒が住んでいる近隣市町村の事業所が受入先として多数参加（本格開始後三月で約30社）している。

上市高校PTAでも生徒の職業意識を高めようと、保護者による面接指導が行われ、社会人の目線で生徒にアドバイスができる機会になり広がりを見せている。本年7月には本事業に深く関わっている企業、役場、高校の代表者によるパネルディスカッションが開催され、産官学連携によるキャリア教育の活動状況等を報告したところ、約100人の参加者から示唆に富んだ内容であったと高く評価された。

2018年に始めた①「職場見学」を皮切りに、ハッピー上市会が中心となって地域全体で教育を考える土壌を育ててきた。企画に参加した生徒や受入れ企業に少なからずポジティブな影響をもたらせ、地域全体の活性化・地域力を高める機会となっている。こうした蓄積が上市町ならではのキャリア教育を魅力的なものへと高めてきたが、③「キャリアバイト」開始による活動範囲の広がりに伴い今後ますます発展していくことが期待される。

学校現場の評価・感想・コメント

多様化する社会において学校だけで職業観を育成することは難しく、生徒が就職先を選ぶ基準は給与と福利厚生が良い会社となっていた。職業観が十分に育たず社会に出てしまうと、やり甲斐や、やりたい仕事が見つからないため、労働条件の食い違いや人間関係のトラブルが少しあっただけで早期離職をする生徒が出ていた。

ハッピー上市会の協力で「職業を知る会」や「職場見学」を実施できたことで、これまで十分に提示できなかった「働く意義」や「働く人の声」などが聞けるようになった。生徒からは「楽しそうに仕事をしていて」「仕事にプライドをもって」「仕事に対するイメージが実感を持って得られるようになってきている。こうした経験をすることで、意識が大きく変化し、生徒の事前学習の質問と事後学習の感想とでは記述量に明確な差があり、教室では学ぶことができない効果があると確信している。また、進学希望者であっても将来就職する際に必要な資格を考えたりする貴重な機会となっている。「職業を知る会」や「職場見学」に参加した企業へ就職を希望する生徒が出てくるなど、地域と学校相互に効果が生じている。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

＜職業を知る会（R6.5.29開催）生徒の声抜粋＞

【受け入れ企業（1）：かみいち総合病院】

私がかみいち総合病院の話を聞き、どの職種でも一つ一つ大事な役割があり、生活を守ってくれていると感じられた。私は、介護福祉士の前に、助産師に憧れていました。人の命を支える仕事は私の仕事の中で一番キラキラしている職業です。どの職種も素敵で人と人を支えあえる職業だと改めて思った。

【受け入れ企業（2）：株式会社ニッセイテクニカ】

ゆるみ止め加工にプライドを持っていることが話の節々に感じられました。この加工があるおかげで安全に物を使っているとわかり製造業で働きたい気持ちが強まりました。私もプライドを持てる会社で働きたいと思った。

【受け入れ企業（3）：株式会社アルティネット】

会社の特徴を知るだけでなく、何をしたら自分自身がよく成長するのかをよく考えさせられる時間になった。

【受け入れ企業（4）：松井エネルギーモータース株式会社】

人のために車をなおし笑顔をつくるなんて素敵な仕事だなと思った。自分が熱中できることをしろうとアドバイスをくれて感謝しかない。

【受け入れ企業（5）：社会福祉法人上市町三日市保育園】

お話を聞くのは2回目だが、保育園の大切さや保育園で働くという大変さについて知ることができた。進学は保育関係ではないが、お話を聞いて少しは自分の進路に役立ったと思った。もっと進路について考えようと思う。

富山県議会において、教育長からハッピー上市会の支援のもと行われている②「職業を知る会」などについて感謝の意を示すとともに、上市高校の例も参考にして高校生のキャリア教育の充実に努めたい旨の答弁がなされている。

富山県下の全自治体での中小企業振興条例制定の運動を展開している富山県中小企業家同友会では、条例制定によって地域の産官学が一堂に会して議論する振興会議が設置されることが何より大切と認識しているが、上市町はその振興条例が存在しないまま振興会議と同趣旨のハッピー上市会が活発に運営されていることを稀有な事例として高く評価している。

上市町役場もハッピー上市会の一員として議論に参加しているが、行政ではなく企業が主体となって運営されていることが大きな特徴であり、それ故に町の課題に対する意見や提案をしっかりともらえる貴重な場となっている。

また、上市高校と町との接点は過去にはほとんどなかったが、ハッピー上市会の活動がきっかけとなり、高校が望むこと、町が望むことのマッチングもできるようになり①②③以外にも企画が生まれるようになった。例えば、高齢者のスマホ教室では高校生がスマホサポーターとしてマンツーマンで講師を務め、参加者はもちろんのこと県の担当部署にも高く評価され、県政テレビ番組でもこの取組みが紹介された。

<キャリアバイト受け入れ企業の声抜粋>

【受け入れ企業（1）：つるぎの味蔵（里山の駅）】

「キャリアバイト」に来てくれているだけあって、お手伝い感覚ではなく、仕事として取り組んでくれた。業務中もただ言われたとおり作業をするだけでなく、もっとスムーズにできる方法を考えながらやっていてどんどん上達していった。

【受け入れ企業（2）：都（ラーメン屋）】

接客することで身につく挨拶やコミュニケーションスキルは今後社会に出ても絶対に役に立つ。そういった意味では生徒はお金以上のものを得ていると思う。キャリアバイトが今後高校、生徒、受入事業者3方良しの取り組みになってほしい。

<職業を知る会参加企業の声抜粋>

【参加企業（1）：特別養護老人ホーム常楽園】

このような場は企業・生徒ともに良い場だと感じている。参加して刺激をいただき、今後の仕事場での関わりに活かしていきたいと思う。

【参加企業（2）：毅行福祉会音杉保育園】

「職業を知る会」は、生徒さんたちにとって様々な職種を気軽に知ることができる機会なので、今後も続けてほしいと思う。

【参加企業（3）：富士化学工業株式会社】

中学生から高校生になったばかりの1年生に対して初期の段階で、早ければ3年後に働いているという意識を持たせることは大事なことだと思う。



提供：北日本新聞



提供：北日本新聞



(写真2) 職場見学



(写真3) インターンシップ



(写真4) キャリバイト

提供：富山新聞



(写真5) ハッピー上市会 (左)
グループディスカッション (右)



(写真6) 上市高校の産官学で取り組んでいるキャリア教育を学ぶパネルディスカッション

提供：北日本新聞



(写真7) 高校名変更の要望

提供：富山新聞